

山東サッカー

県総体

2024年県リーグ、山東は県1部昇格を目指し、2部リーグを戦う。第1節では悔しい黒星スタートとなった。立ち上がりは硬さや相手の圧力に押される場面が多く、思うような試合運びが出来なかった。しかし、その後の3節では厳しい戦いを強いられながらも接戦の場面で粘り強さや勝負どころでの集中力が光り、この試合で勝ち点を獲得。チームの勢いを感じた。さらに、地区総体は苦しみながらも勝ち抜き、県総体の切符を手にした。

の急ぎすぎた展開や、意図の乏しいクロスの多用。結果として、相手守備陣に容易に対応されてしまった。

県総体を集大成とする今年生にとって、この一戦は重要な一戦となっただろう。部での三年間で今後どんな逆境



県総体を集大成と位置づけていた三年生にとつて、この敗戦は大きな痛みとなつただろう。しかし、山東サッカー部での三年間で磨かれた技と精神は、今後どんな逆境にあつても決して消えることはなく、不屈の力となるはずだ。後輩たちは、先輩の悔しい思いを受け継ぎ、さらなる成長を遂げてほしい。

新人戦

いどリブル突破を抑えることができません。失点。その20分後にも同じ形で失点し、前半のうち逆転を許してしまおう。

後半は山東が攻勢を強め、相手陣内での時間を多く作るが、焦燥感から攻撃が単調になり、縦へり、縦へり

山形明正
0 | 4

	羽根田	新井	米沢	明新	酒田	致道	鶴岡	山形	山形	長井	日形	新庄	山形	山形	米沢	山形	酒田	榎田	寒河江	東海
得点	3	2	1	2	2	1	1	1	2	3	0	1	4	1	1	2	11	0	0	4
失点	0	4	1	0	0	8	3	0	3	2	1	1	2	0	1	1	4	0	1	4

黒東 中央 館陵 館専 業高 南井 山形 山形 中央 山形 工業 北業 興讓 城正 山形 明西 山形 江南 東海 大山形

1回戦の相手は新庄北。県リーグ後期では勝ち点1を分け合ったチームであり、内容は決して良いとは言えないものだったので、山形東としてはリベンジの気持ちで試合に臨んだ。前半中盤、コーナーキックからセンターバックが頭で合わせて先制点。さらに前半終了間際には、連係の取れた崩しから追加点を奪い、2対0で折り返した。後半もコーナーキックから得点を挙げ、リードを広げる。このまま追加点を重ねたいところだったが、PKを献上し失点。しかし、そこからは立て直し、交代選手が躍動。試合終了間際にダメ押しのゴールを決め、4対1で勝利した。

2回戦の相手は、前顧問・今野誉康

選手権

新チームになり、県リーグ後期では思うように結果が出せずにもがいていた山東。そんな中、選手権1回戦の相手は3部リーグ在籍の酒田光陵。カテゴリー的には山東が格上であり勝たなければならぬ試合であるが、不安要素も多かった。難しいことをせず、シンプルに相手の背後を狙う攻撃を展開

く、相手の守備に引つかかる場面が多かった。

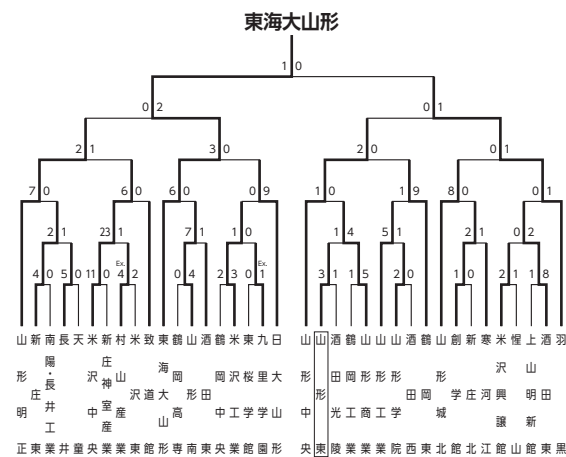
ホームページ
<http://www.jmcy.co.jp/~goto/>
メール
齋藤 ssjnr774@ybb.ne.jp
岡部 okabeai31@gmail.com

が指導する東桜学館。お世話になった今野先生への感謝と敬意を胸に選手たちは一躍の気迫を持って試合に臨んだ。結果は7対0と快勝であったが攻撃の幅という点では課題が残る内容だった。特に攻撃が単調になりやす

開。前半の早い時間、セカンドボールを回収し左サイドへ展開。そこから良いグランダーのクロスが上がり、冷静に流し込んで先制する。しかしその数分後にPKを献上し、同点に追いつかれてしまう。それでもベンチの雰囲気はよく、前半で出た課題を修正し、強い気持ちで後半へ臨んだ。後半開始5分、コーナーキックから得点。さらに終了間際にもカウンターから追加点を奪い、3対1で勝利し2回戦進出を決めた。公式戦でしっかりと勝ち切れたことは、チームにとって非常に大きな経験となった。

続く2回戦の相手は来季の県1部昇格を決めている山形商業。試合開始直後、裏に抜け出され、あっさりと失点。その後も相手の攻撃を防ぎきれず、連続で3失点を喫してしまふ。後半は多少内容が改善され、山東が攻め込む時間も増え、決定機を何度か作るが、相手ゴールキーパーの好セーブに阻まれた。終盤、コーナーキックからなんとか1点を返すも、1対4で試合終了。強度の高い相手に対し、自分たちのサッカーを展開できず、新チームの課題が浮き彫りとなった。

めた。公式戦でしつかりと勝ち切れたことは、チームにとって非常に大きな経験となった。



善戰！熱戰！奮戰！

ナをヘッドインで2ゴール。後半もなかなかシュートを打つこともできず13分富沢がボールを止めたもののこぼれ球をゴールされ、0-3で試合を終えた。



現役納会

12月5日(木)山形市内の中島商店にてサッカー部恒例の納会が開かれました。この納会は、元後援会長の故武田栄四郎先輩や元副会長の故奥山先輩らの発案で40年ほど前から開催される会で、後援会が現役生を呼んで焼き振舞いながら優秀選手に賞を贈り、1年間の活動を労いつつ1、2年生は翌年に向けて、3年生は受験に向けて激励する場として、脈々と受け継がれています。今回は、1年生11名、2年生12名、3年生11名、スタッフ3名、後援会4名(齋藤会長、後藤芳郎報道局長、後藤章洋副幹事長、清野名誉会長)の参加となりました。

2024年シーズンの優秀選手は、阿部大輝、小関健矢、會田祥吾、高橋秀斗、佐藤碧の5名が選ばれ、優秀選手賞を授与されました。齋藤後援会長や清野名誉会長、後藤報道局長、後藤副幹事長らの激励を受け、3年生は受験への意欲を語り、2年生代表が来シーズンの抱負を述べました。各選手の受賞理由は以下となります。

阿部大輝…副主将として、目立ちたがり屋の主将アオイを持ち前の優しさで抑えながらも責任感をもってチームに働きかけ、大きく貢献して

くれた。総体後も前期リーグまで残り、最後の山南戦では2ゴールを挙げ努力が報われるような大活躍をしてくれた。あの2ゴールは先輩たちの心に深く刻み込まれた大変すばらしいゴールだった。受験でも最後まで粘り強く、自分の志望を叶えてほしい。

小関健矢…中体連出身ながらに1年生から試合に出続けチームの中心を務めてきた。攻守にわたる献身的なプレーは山東サッカー部の心臓といってもよいほどの素晴らしいものであった。グラマネとしてチームを良くしようという思いをもってしっかりと役割を果たしてくれた。今年の山東祭では門チーフでダイキと顧問と共に苦しんだがそれもよい経験になっただろう。今後のさらなる活躍を期待している。

會田祥吾…1、2年次では多くの功績を残し、3年では怪我によりバストコンディションでプレーできず、やりきれない思いをしただろうがグラマネとして自分ができることを率先して行い、チームの勝利の為に尽力してくれた。他校の顧問から名前が上がるほどの君の素晴らしいプレーをもっとこの目でみたかった。ぜひ志望の大学で体育会に入部し、大暴れしてほしい。

選手として、チームに貢献し続けてきた。厳しい状況では体を投げ出してでもゴールを守ろうとする。腰痛に苦しみながらも「逃げない姿勢」を貫き通しチームを助けてきた功労者である。サッカーを言語化して戦術を語ることができるインテリジェンスを活かし、戦術の話をするのが少ない3年生をグラマネとしてまとめあげ、練習を組織した功績も大きい。これからサッカーとどんな付き合い方をしていくのか非常に楽しみである。

佐藤 碧…明るい人間性と前向きな姿勢により、主将を任せられ責任感をもってチームを様々な面で引っ張ってくれた。癖が強い三年生の主将というのは苦労したと思うが、よくまとめ上げてくれた。チームの練習でもグラマネと連携し、山東サッカー部の最良の伝統である部の自主運営を良く果たしてくれた。主将、後援団、長、山東祭実行委員長として培ったリーダーシップで世界に貢献してほしい。



新監督自己紹介

このたび、山形東高校サッカー部の新顧問に就任いたしました齋藤貴玖人です。長きにわたりチームを率いておられた今野誉康先生のご尽力に深く敬意を表すとともに、その意志をしっかりと受け継ぎ、歴史と伝統のあるこのチームをさらに発展させていく所存です。これまで築かれてきた土台の上に、新たな挑戦を積み重ね、選手一人ひとりが成長できる環境を整えながら、チームとしてさらなる飛躍を目指します。これから、皆さまの変わらぬご支援とご声援を賜りますようお願い申し上げます。



サッカーフェスティバル

8月3日(土)、山東サッカーフェスティバルを開催いたしました。当日は夏のフェスティバルにふさわしく快晴で気温も36度ほどになり熱中症対策から通常よりスタートを1時間ほど遅らせました。この暑さにも負けずに30名を超える方々にご参加いただきました。

昭和59年に高校総体と選手権の2冠を制した年から40周年となることから当時の方々(二冠会)が記念ゲームシャツを着用し1チームを結成した。佐藤隆行さん(山東36回)、澤井悌志さん(山東36回)などは当時を彷彿とさせる動きを見せておりました。

二冠会の皆さんからは県二冠40周年を記念したテントが現役サッカー部への寄贈品として贈呈され、フェスティバル当日も使用させていただきました。

ゲームの後には会場を中庭に移し懇親会を開催し、現役部員と交流を図りました。

ここ数年は幅広い年代の方々に参



左から齋藤後援会長、二冠会部長鈴木正浩、後藤報道局長



最近OBだけでなくOGも参加しています



山東35回&山東44回 神保兄弟



山東43回&山東75回 会田親子

加していただいておりますが、今年にはさらに親子での参加(山東35回 渡邊晃さん/本年度から本校校長・元U16日本代表と山東66回渡邊克さん、山東33回丹野善将さん/後援会幹事長と山東64回丹野善貴さん)やご兄弟での参加(山東35回神保健志さんと山東44回神保康志さん ともに総体優勝)など様々な顔ぶれが揃い、山東サッカーファミリーの益々の充実ぶりを実感いたしました。(注: 渡辺校長は当日参加予定でしたが急遽校務の為に挨拶のみ)



二冠会寄贈のテントの前で集合

誘い是非グラウンドへお越しください。山東サッカーファミリーの輪を広げていきましょう。

(山東35回 野口 利之)

岸慎一氏(山東21回)

受賞おめでとうございます！

令和6年度山形県教育功労者表彰において前山東サッカー部後援会長岸慎一氏が表彰を受けました。

功績としては、昭和63年から長年にわたり山形県サッカー協会の要職を歴任し、組織強化・基盤整備をはじめサッカー競技の普及・発展に尽力、特に山形県サッカー協会の組織整備確立に傾注し、平成17年度には協会を特定非営利活動法人として法人化するなど、卓説した行政手腕を発揮した点が挙げられます。

山形県教育功労賞

表彰を受けて

山東21回 岸 慎一

この度の受賞にあたり、ともに山形県サッカーの発展・強化に尽力してきた諸先輩及び関係者各位に心から御礼申し上げます。

協会への関りとしては、昭和53年の山形地区協会事務局長から令和6年に山形県協会副会長を退任するまで47年間協会活動に従事してきた。この間、協会の法人化、各地区の人工芝グラウンドの設置、Jクラブ創設への関り、東北総体運営等大変充実したものであった。

東高サッカー部OBの協会関係者としては、第四代北沢學雄会長、現在の桂木聖彦会長はじめ様々なOBが協会の発展に大きな功績をあげてきている。今後、現役諸君も、山形県のサッカー発展のために尽力をお願いしたいものである。

「SUMMER MEETING 2025」開催のお知らせ

このたび二冠会の皆さんから、現役生への支援の形の一つとして「メンタリングプログラム」実施の提案があり、2025年度より開催することとなりました。

本後援会による現役部員への後援活動・貢献活動を「ヒト・カネ・モノ」の軸で考えたとき、これまでは「カネ」と「モノ」の支援を中心に行っており、「ヒト」の視点での貢献は個別にはあつたものの組織としてもつとできるのではないかということで、後援会メンバーによる「メンタリングプログラム」の提供を行うという提案がありました。

「メンタリングプログラム」とは、現役部員の将来のキャリア形成への取組やそれに伴う今現在の悩みなどについて、今後の指針となる話題の提供と彼ら自身の考えを引き出していくセッションを行うワークショップ形式の会で、現役部員の総合的な人材育成に資するものを目指します。メンター（講師等）が後援会のメンバー、つまり「知らない偉い方」ではなく「自分たちの先輩」であるところが非常に重要で、この企画の肝となります。今後、後援会メンバーの皆様にメンターを依頼することがあるかと思いますが、その際は「協力のほどよろしく願います」。

いますよう宜しくお願いいたします。

●開催日時
2025年8月2日(土)
13:00～14:30

●開催場所
山形東高校 第二多目的室

●開催概要
メンターの講演、メンターによるメンティーの考えの引き出し、グループでの話し合い、質疑応答

●今回のメンター
例 歴 洪谷 雅人氏（山東36回）

慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、住友商事に入社。主に鉄鋼畑を歩み住友商事東北株式会社の取締役を歴任後に2017年早期退職制度を利用して退職。2020年5月、全国レガシーギフト協会にて遺贈寄付の啓発活動に携わる。2020年10月から認定NPO法人全国こども食堂支援センター「むすびえ」に参画、休眠預金活用事業のプログラムオフィサー等として活動。2022年6月に同法人の理事に就任、現在に至る。

お申し込みは、こちらのQRコードから申し込みフォームに入力いただくか、okabeai31@gmail.com（担当：岡部）までメールでご連絡ください。



体育部OB会総会・懇親会

2025年2月2日(日)、山形グランドホテルにて、第68回体育部OB会総会・懇親会が開催され、我がサッカー部は約26名の参加者がありました。懇親会終了後は、恒例の「ふるさとの味やまがた」にて二次会が開催され、こちらは更に人数が増えて27名の皆さんにご参加いただきました。二次会では副会長の野口さん（山東35回）から、後援会ができる新たな支援のひとつとして、現役生へ向けたメンタリングプログラムの実施について提案があり、出席者の賛同を得ました。（詳細はSUMMER MEETING 2025参照）また、なんとこの会が「ふるさとの味やまがた」で開催できるのはあと数回なのだとか。（山形市都市計画「粹七ー粋な町七日町プロジェクト」の御殿堰周辺の都市開発エリアに店舗敷地がかかるため閉店されるとのこと）

また、2025年度の体育部OB会総会・懇親会是我々サッカー部が代表幹事となり、会の運営を担当することになります。2026年2月2日(月)山形グランドホテルで開催予定です。奮ってご参加ください！今回は平日開催となり当日手伝える方は少ないかもしれませんが、一人でも多くの方にお手伝いを願います。いしな状況ですので、参加可能な方は事務局長の佐藤までご連絡ください。

さい。【連絡先：山東44回 佐藤剛】
takeshi-sato@macatv.ne.jp
(山東45回 岡部愛)



特 別 寄 稿

「東北選手権出場の思い出」と「知人消息」

山東23回卒の草刈順です。小生は卒業から50年、会社もリタイアし、長年ため込んだままの書類の山を整理していたら、所在が分からなくなっていた会報「山東サッカー」（2016～21年の6年分）を見つけました。当時は会報を流し読みしている程度でしたが、今回改めて読み直して、懐かしい資料も出てきたので、消息・近況と合わせて報告します。

まず「2021年会報」に掲載されていた「サッカー部歴史年表」(OB会・奥山孝雄氏作成)は、サッカー部90年超の歩みが一目瞭然に分かり、とても貴重な資料です。とりわけ小生が在籍した3年間で、思い出に残っているのは、年表にもあった「1970年(昭和45年)東北高校サッカー選手権出場」です。

1年生でしたが、チームは秋の県新人大会でブロック優勝し、11月の東北大会に3年生も参加して、山形県代表として出場しました。当時は全国高校サッカー選手権大会の東北予選を兼ねた大会で、毎年、仙台で開催され、決勝進出の2チームが全国大会に出場していました。

東北大会は1回戦で七戸（青森）に0－1で敗退。試合の経過や内容は、まったく覚えていませんが、試合結果は仙台の地元紙に掲載され、その大会記事のコピーも残っています。記事には、1回戦から対戦チームのスコアテーブル（メンバー表）が掲載され、紙面の名前を見て大変うれしかった記憶だけは残っています。いま眺めると懐かしい限りで、データ上はGK、CK、FKは両チームほぼ変わらず、SHは山形東が七戸を上回っており、互角のゲームだったとも読み取れます。大会記事の一部と、東北大会前に撮影したとみられるサッカー部全員の集合写真もありましたから、参考までにご覧ください。岸慎一・前後援会長らの精かな若き日の姿も写っています。ちなみに、この東北大会は仙台育英（宮城）が優勝し、郡山商（福島）が準優勝して正月の全国大会に出場しました。

[illegible]

ところで、小生の年齢になると、一緒にサッカーをした世代や、先輩方の消息が気になります。そして身近な知人の訃報が目に入り込んできます。

「2016年（平成28年）会報」に「佐竹俊明氏（前山形東高校長）逝去」の訃報と、「佐竹先生を悼む」の追悼文が掲載されていました。小生とは同学年で3年生の時は同じクラスだった佐竹さんは、フェンシング部で活躍していましたが、その後、母校などで教員を務めました。生前にちょっと話す機会があり、「いまは山東サッカー部の顧問をしてるんだよ。考えられないだろう」などと楽しそうに話していた思い出があります。

そして2024年初め、「昨年末（12月22日）に永田邦昭が永眠いたしました」という訃報が奥様から届きました。永田は東北高校サッカー選手権にも一緒に出場した同級生です。1年生から3年間、永田は上山駅から、小生は途中の蔵王駅から山形駅まで「汽車」通学し、サッカーも、帰りもほとんど一緒でした。

堅実で信頼できるDFでした。大学時代もサッカーを続け、国際協力機構（JICA）に勤務してからも、社会人チームに参加してサッカーを楽しんでいたようです。高卒後は、年賀状の交換をしたり、仙台に出張で来た際に会ったりする程度で、「2017年会報」に永田が寄稿した「エジプト記」で、彼の近況を知りました。「今度、一緒にサッカーフェスに行こうか」と話したこともありましたが、もう実現できません。69歳。高校時代のかけがえのないサッカー仲間の突然の訃報に、心を持て余しています。

この原稿を書き終えて、「山東サッカーOB会」ホームページを検索し、「サッカー部歴史年表」を作成して下さった奥山孝雄氏が2024年3月18日に逝去したことを知りました。若き日を振り返るきっかけとなる資料を提供して下さった奥山氏に改めて感謝し、ご冥福をお祈りいたします。

最後に小生の近況を少々。大学卒業後、仙台の地元新聞社に入社。一時期は編集局のスポーツ担当として、宮城スタジアムも開催地となった日韓W杯サッカー、ベガルタ仙台のJ1リーグ準優勝とACL出場、天皇杯準優勝、モンテディオ山形とのお互いに燃える東北ダービーの取材現場にも立ち会って、サッカーと関わってきました。

プレーヤーとしては、大学卒業後サッカーから遠ざかっていましたが、半年前にシニアチームに参加し、四十数年ぶりに「球蹴り」を再開しました。ただし、練習中にふくらはぎ肉離れを繰り返して、筋力の衰えを痛感しているところです。あまり欲張らず、現在の体力と相談しながら、再びサッカーを楽しめたらと考えています。

母校山形東高には何十年もご無沙汰しています。校舎も新しくなって、だいぶ様変わりしたと聞いていますが、汗臭く土ぼこりにまみれた当時の部室や合宿所も、もうないんでしょうね。いずれ、夏の「炎天下の合宿」とともに忘れられない「サッカーフェス（以前はナイターサッカーと呼んでいた?）」に顔を出してみたいと思っています。

(2024年5月20日、山東23回 草刈順)

会費・寄付納入者名簿(6年度) (敬称略・単位千円)

山東8	西村 武5	山東26	金井浩一郎7	山東43	佐竹 寛史5	山東62	多田 健人3	慶弔 逝去 令和5年7月26日 佐藤 良治 山東25回 令和5年10月7日 横澤 正彦 山東7回 令和6年4月21日 橋本 毅 山東7回 令和7年3月26日 佐藤 守 山東7回 令和7年4月21日 荒木 秀文 山東37回
山東9	金村 勲5		佐藤 利和5		斎藤 雄5	山東63	鈴木 拓也3	
山東10	近藤 元一3		齋藤 哲朗5	山東44	佐藤 剛4		堀込 健斗3	
山東11	工藤 玄光5	山東27	小嶋 文良5		斎藤 丈彦4		加納 麻実3	
	清野 一彦5		田中 徳彦5		笹 真一4	山東64	丹野 善貴3	
山東14	工藤 瑞夫5		村山 久夫5		神保 康志4	山東65	村岡 真論2	
山東15	今井 眞哉5	山東28	渡辺 憲雄10		山崎 琢磨10		阿部 陽太2	
山東16	長谷川博和5	山東29	桂木 宣均5	山東45	岡部 愛4	山東66	吉田晃太郎2	
山東17	秋保 仁5	山東30	伊藤 洋5		黒木 薫4		武田 良太2	
	伊藤八右衛門5	山東32	桂木 聖彦5		谷川 智行4		渡邊 克3	
	浜田 敏5		佐藤 利夫5		宮川 尚久4	山東67	岡崎 俊2	会費寄付金納入方法 名 称：山形東高校サッカー部 後援会 郵便振込：02450-1-1960 銀行振込：山形銀行県庁支店 (普)217859 皆様の会費・寄付金は遠征等、現役選手の育成費用として活用させて頂いております。現役時代諸先輩方から受け取ったお気持ちをOBOGとなった今お返しする意味でも、是非ご協力の程、宜しく願い申し上げます。
山東19	松田 眞一5	山東35	斎藤 一郎5	山東46	菊地 拓4		石本 万真2	
	後藤 芳郎5		野口 利之10		今野 学4	山東68	渡辺 晴2	
	谷川 茂5		渡邊 晃10		横田 大樹4		羽柴 寛泰2	
	皆川 節5	山東36	金野 宏龍10	山東47	伊藤 陽介4		石原 駿2	
山東20	伊藤 政律5		後藤 章洋5		山口 真史4	山東72	矢吹 晃成2	
	草刈 健5		塩川 創10	山東48	奈良崎 賢4			
	曾根田 篤5	山東37	鈴木 隆5	山東52	村形 勘樹4			
	長谷川徹雄5	山東38	石澤 卓司5	山東55	小川 裕史3			
山東21	岸 慎一5	山東40	漆山 和仁5	山東58	須藤 亮太3			
	桑嶋 誠一5		小関 重紀5		高橋 和博6			
山東23	草刈 順5	山東41	東 康史5	山東59	後藤 泰治3			会費寄付金納入方法 名 称：山形東高校サッカー部 後援会 郵便振込：02450-1-1960 銀行振込：山形銀行県庁支店 (普)217859 皆様の会費・寄付金は遠征等、現役選手の育成費用として活用させて頂いております。現役時代諸先輩方から受け取ったお気持ちをOBOGとなった今お返しする意味でも、是非ご協力の程、宜しく願い申し上げます。
山東24	渋谷真一郎10		岡部 純一5		小池 晋平3			
	横倉 正教5	山東42	鴨田 直希5		浅野 敬史3			
山東25	寒河江 努5		五島 博継5		黒田 薫3			
山東26	大澤 博行5		庄司 卓10	山東61	桂木 宣直3			
	奥山 和伸5		橋本 憲二5	山東62	大築 郷3			
	開沼 泰隆5	山東43	会田 一洋5		斎藤 大三3			

※会則に定められた会費の金額は次の通り。
第13条 会費「①本会の会員は会費を納入する。ただし学生は免除する。②会費の額は、100円に会員の年齢を乗じて得た額の千円未満の端数を切り捨てた額を年会費とする。」
※20代は2千円、30代は3千円、40代は4千円、50代以上は5千円となる。もちろん、定められた額以上を芳志として出してくださることを拒否するものではありません。

令和6年度山形東高サッカー部後援会決算書(案)

■ 収入の部 ■ (単位・円)				
	予算額	決算額	増 △ 減	備 考
年会費・寄附金	450,000	466,000	16,000	別掲100人
繰 越 金	199,107	199,107	0	令和5年度繰越金
雑 収 入	20,893	49,275	28,382	現役納会参加者負担金ほか
計	670,000	714,382	44,382	

※今年度は受取利息93円

■ 支出の部 ■				
	予算額	決算額	増 △ 減	備 考
印 刷 費	80,000	74,580	△ 5,420	会報(700部)と郵便払込票印刷代
通 信 費	60,000	58,142	△ 1,858	会報653部の郵送料など
慶 弔 費	20,000	0	△ 20,000	
育 成 費	310,000	284,998	△ 25,002	フェスティバル59,043円、現役納会、トロフィー・キーホルダーなど225,955円
体育部OB会費	40,000	35,000	△ 5,000	分担金、強化費
遠征補助費	50,000	0	△ 50,000	現役遠征費補助として監督に
事 務 費	20,000	20,523	523	会報送付用封筒代9,900円(+振込手数料330円)、郵便振込手数料60件10,293円
会 議 費	20,000	6,000	△ 14,000	体育部OB会役員会費6,000円
雑 費	20,000	28,330	8,330	選手権激励会費
予 備 費	50,000	0	△ 50,000	
計	670,000	507,573	△ 162,427	(翌年度へ繰越) 206,809

令和7年度山形東高サッカー部後援会予算書(案)

■ 収入の部 ■ (単位・円)		
	予算額	摘 要
年会費・寄附金	450,000	5,000円×90人
繰 越 金	206,809	令和6年度決算より
雑 収 入	3,191	
計	660,000	

■ 支出の部 ■		
	予算額	摘 要
印 刷 費	80,000	会報(770部)
通 信 費	60,000	会報発送
慶 弔 費	20,000	
育 成 費	310,000	フェスティバル・現役納会
体育部OB会費	40,000	負担金
遠征補助費	50,000	遠征OB派遣費
事 務 費	23,000	振込料、ラベル印刷他
会 議 費	20,000	
雑 費	30,000	
予 備 費	27,000	
計	660,000	

音信良通

◇西村 武（山東8回） まだまだ元気で生きているよ

◇近藤 元一（山東10回） サッカーのおかげで元気です。もっぱら年寄たちの手助けをしています。自分も年寄ですが。

◇工藤 玄光（山東11回） 奥山先輩の御冥福を祈っております。

◇開沼 泰隆（山東26回） 全国大会出場を目指して頑張つて下さい。EURO2024を観て、サッカーの面白さを感じました。

◇伊藤 洋（山東30回） 現役のみなさん、ぜひ東大サッカー部を目指してがんばってください。（引越しました。）

◇渡邊 晃（山東35回） 令和6年度に母校校長を拝命いたしました。大変名誉なことではありますが、責任の重さを強く感じております。サッカー部の応援に加え、東高へのご支援を今後もよろしく願っています。

◇庄司 卓（山東42回） 首ヘルニアになりました！

◇菊地 拓（山東46回） 最近子供とモンテ応援に行ってます。

音信良通は、会費の振込用紙に一言添えて頂くか、okabeai31@gmail.comにメールをお送りください。名前と本文のみで結構です。皆様の近況や会報誌の感想、ご要望等お待ちしております。

サッカーフェスティバル

参加者（敬称略）

- | | | | | | | | | | |
|--------------|-------------|--------------------|--------------|--|--|-------------------------------|--------------------------------|--------------|--|
| 後藤 芳郎（山東19回） | 岸 慎一（山東21回） | 齋藤 哲朗（佐藤 利和（山東26回） | 丹野 善将（山東33回） | 齋藤 一郎、神保 健志、鈴木 亮、高橋 直樹、野口 利之、服部 俊也、峰田 光晃、渡邊 晃、金子 理（元コーチ、鈴木 正浩（元顧問） | 大滝 雄裕、奥山 雅彦、金野 宏龍、後藤 章洋、佐藤 隆行、澤井 悌志、洪谷 雅人、鈴木 康田、土田 文宏、三沢 裕樹、矢作 誠、吉見 祐悦、鴨田 直樹、五島 博継、庄司 卓、橋本 憲二（山東42回） | 会田 一洋、今野 誉康、齋藤 雄、佐竹 寛史（山東43回） | 齋藤 丈彦、神保 康志、山崎 琢磨、高橋 智行（山東45回） | 黒田 孝典（山東46回） | 黒田 薫、小池 晋平、後藤 泰治、大築 郷、齋藤 大三、多田 健人（山東62回） |
|--------------|-------------|--------------------|--------------|--|--|-------------------------------|--------------------------------|--------------|--|

体育部OB会懇親会

- | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|-------------|-------------|-------------------|---------------|--------------|--------------------------|--------------|--------------------|--------------|--------------------------|--------------|--------------|
| 今井 眞哉（山東15回） | 秋保 仁（山東17回） | 皆川 節（山東19回） | 岸 慎一、桑嶋 誠一（山東21回） | 洪谷 真一郎（山東24回） | 寒河江 努（山東25回） | 齋藤 哲朗、金井浩一郎、佐藤 利和（山東26回） | 渡辺 憲雄（山東28回） | 桂木 聖彦、佐藤 利夫（山東32回） | 野口 利之（山東35回） | 後藤 章洋、沢井 悌志、鈴木 康由（山東36回） | 石沢 卓司（山東38回） | 橋本 憲司（山東42回） |
|--------------|-------------|-------------|-------------------|---------------|--------------|--------------------------|--------------|--------------------|--------------|--------------------------|--------------|--------------|



サッカーフェス参加者

堀込 健斗（山東63回）
丹野 善貴（山東64回）
村岡 真論（山東65回）
吉田晃太郎、渡邊 克（山東66回）
石本 万真（山東67回）
羽柴 寛泰（山東68回）
矢吹 晃成（山東72回）

他多数の皆様にお越しいただきました。ありがとうございます。今年は8月2日（土）（8月第1土曜日）に開催予定です！

今年度の体育部OB会は、2026年2月2日（月）（日付固定）山形グランドホテルで開催予定となります。我々サッカー部は代表幹事となりますので、ぜひとも奮ってご参加ください！

開催情報については事務局次長：佐藤剛（山東44回）takeshi.sato@mac.vy.ne.jpより配信しています。メールが届かないという方は事前に佐藤までご連絡ください。メーリングリストに登録させていただきます。



今回もバタバタと誌面の作成をしました。タイトなスケジュールの中、制作にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございます。

タが沢山あったのですが今回漏れたものは次の機会に掲載させていただきます。先輩方から寄稿いただくことも増え、掲載する内容に困ることがないというのには有り難い限りです。またお会いしたくない先輩や後輩と誌面制作の作業でつながることができるよう、編集担当としての楽しみのひとつとなっています。次号もぜひ寄稿のご連絡お待ちしております。サッカー部の仲間が集まって飲んだよ、という気軽な内容も大歓迎です。ぜひ写真とともに送っていただければと思います。

2025年5月発行の山中・山東 東京同窓会会報誌 第83号に我が山東サッカー部の広告を「祝 山東サッカー部二冠会メンバー渡邊晃校長就任」というタイトルで掲載しています。渡邊校長の寄稿もありますので、お手元に届いている方はぜひご覧ください。

現在私は山形国際ドキュメンタリー映画祭の理事を務めています（山形市はユネスコ創造都市映画部門に日本で唯一登録されている。映画の街、だということをご存知でしょうか？）。山形の子どもたちを対象に映画作りや上映会作りのワークショップを開催しているのですが、その活動の中で、高校の文化部の活動は外部の指導者が少なく、また組織立ってバックアップする団体も少ないことを感じています。一方で山東サッカー部は、顧問の先生、監督の他に外部指導員もいる充実した指導体制があり、後援会の先輩方が現役生の活動に関心を持ち、力強くサポートする姿勢が本当に素晴らしいと感じます。決して当たり前ではない環境の中で高校時代を当たり前に過ごせた幸せを今更理解し、先輩が代々してきてくださったように私も後輩たちのために役に立てるといいなと考えています。（山東45回 岡部愛）